

一般研究集会 中間報告（課題番号：2020K-01）

課題名：これからのスロー地震学が南海トラフ巨大地震の理解に資する役割

研究代表者：横田 裕輔

所属機関名：東京大学生産技術研究所

所内担当者名：伊藤 喜宏・山下 裕亮

研究期間：令和2年9月16日～令和2年9月18日

研究場所：奈良春日野国際フォーラム 薨

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催を次年度に延期した。

令和2年度 実施状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、国外から研究者を招くことが出来なくなったため、奈良県で実施予定だった国際研究集会は次年度に実施することとなった。代替研究集会として、国内研究集会を実施した。研究集会はオンデマンド方式によるオンライン研究集会として行われ、110名の参加があった。本課題の経費は次年度に全額繰り越しを行った。

令和3年度 実施計画

令和2年度に実施が見送られた国際研究集会を改めて奈良県にて実施する方向で準備を進める。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、令和3年度も国外から研究者を招くことが難しい事が考えられるため、再度取りやめとする可能性がある。国際研究集会を取りやめとする場合は、国内研究集会を実施する。国内研究集会の場合は、従来のような1カ所に国内から研究者が集まって対面で集中的に議論を行うスタイルの他、複数の拠点を設け、拠点間をオンラインで接続して行うハイブリッドスタイルや、令和2年度と同様のオンデマンド方式によるオンライン研究集会を検討する。また、オンラインとなった場合は研究集会を複数回実施し、海外の研究者にも参加してもらえるようなタイムスケジュールで実施することも検討する。前年度繰り越した経費は参加者の旅費に充てるほか、オンラインとなった場合はオンライン研究集会に必要な諸経費として執行を予定している。